

# 「朝日中学校の聞き書き伝承活動の取組」

## 1 学校名

奄美市立朝日中学校

## 2 学年・人数

3 学年・90人

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

7月初旬 語り部へのあいさつ，依頼

### (2) 発表の日時・場所

7月10日（金） 奄美市立朝日中学校体育館

大島北高等学校聞き書きサークル講話（1時間）

地域の方への聞き書き教室（1時間）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

3年生「聞き書き教室」

～郷土の語り部になろう「聞き書きサークル」の活動に学ぶ～

### (2) 由来

これまで本校では，地域の伝統や文化を継承する活動は，体育大会での八月踊りだけであり，島口，島唄，地域の歴史，産業，伝統などを継承する活動の計画がなかった。そこで，地域の高齢者の方や伝統，産業に携わる方の話を聞く活動を通して，伝統を継承する意義を考えるとともに，「郷土の語り部になろう」というテーマで事業を計画した。

### (3) 構成等

地元の大島北高等学校「聞き書きサークル」の活動報告を聞き，地域や郷土に関心をもたせ，8～10人のグループ（全9班）を編成し，地域の方から奄美の歴史，自然，文化，産業，島口，島唄などの分野について，話を聞く。要点を捉えて聞き，聞き取った内容のメモを取らせ，詳しく聞きたい点について質問し，内容を深めて，後日レポートにまとめた。

## 5 保存会や地域との連携の具体

今年度から，地域のことを調べて伝えていく活動を計画し，各地区公民館長を通して，島口，島唄，歴史，自然，農業，漁業，コミュニティなどの分野について話ることができる方の紹介を依頼した。9の方が引き受けてくださり，本計画を進めた。「聞き書き」の方法については，大島北高等学校の聞き書きサークルに依頼し，講演していただいた。生徒は，講演で実際に手法を学んだ後，地域の方から昔の話を聞き，記録をとった。後日，聞いた内容をグループでレポートとしてまとめ，感想と一緒に地域の方にお渡しした。次年度は，総合的な学習の時間として位置付け，継続して実施していくことで，伝承を受け継ぐ人材育成に努めていくことを地域の方と確認した。

## 6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

「聞き書き」事例発表の経験がある大島北高等学校の生徒が、講話を実施したことで、生徒も身近な活動として、「聞き書き」に取り組むことができた。

また、大島北高等学校の配慮で、本校の卒業生を派遣していただいたことも本校生徒の興味関心を高めることにつながった。

地域の方も初めての事業であったため、不安や心配する声があったが、大島北高等学校の講話を生徒と一緒に聴講することで、「聞き書き」の手法を事前に学習することができ、落ち着いて語ることができた。

「聞き書き」活動については、9つのコースを開設することで、生徒が、興味関心をもったコースを選択して、体験的な活動ができるようにした。自ら選択して活動したことで、主体的な学びにつながったと思われる。また、地域の方は、日頃から本校教育活動に協力していただいている方が多く、生徒も過度な緊張もなく楽しく学習に取り組むことができた。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

活動前に地域の方と大島北高等学校の生徒で打合せを行い、講話を実施した。その後の活動には、大島北高等学校の生徒も参加した。

活動後は、グループ毎にレポートにまとめ、感想と一緒に大島北高等学校、地域の方を訪問して、成果を報告した。



【大島北高等学校の講話】



【生徒がまとめたレポート】

【生徒がまとめた感想】

## 8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【3年生生徒】

自分が知らなかったことや、昔の奄美のことを知ることができた。将来島を出ていくつもりだが、この聞き書き教室で学んだ島のことを誇りにしたい。

### 【教職員】

それぞれの講師の方が、奄美の歴史・文化に興味がわくような話を工夫して語られており、よい経験になった。継続して活動を積み重ねていきたい。

### 【大島北高等学校から】

発表の機会を与えていただき、ありがたかった。サークル活動が高まることが期待できることや、中学生が事前に体験することで、本校での活動も盛り上がるのではないかと期待している。

### 【地域の方から】

生徒が真剣に話を聞いてくれたのが非常に印象的だった。これまで、地域の生徒に語る機会がなかったが、このような機会を作っていただき、あらためて地域での生活、文化などを見つめ直すことができた。生徒の作成したレポートや感想が丁寧でうれしかった。来年度も継続してほしい。